

第1回豊前市立学校通学区域審議会の要点記録

日時 令和4年6月30日(木)10:00～

場所 豊前市役所 3階 大会議室

1. 開会

2. 教育長あいさつ

3. 委嘱状交付

教育長より代表者1名に委嘱状交付

その他の委員については、机上配布

4. 審議会委員・事務局職員紹介

出席者自己紹介

審議会委員

事務局

5. 会長及び副会長の選出

委員の互選により定める

6. 会長あいさつ

7. 教育委員会より諮問

教育長より会長に諮問を手渡す

8. 現状説明

事務局より、資料に沿って再編成に至った経緯やこれからの流れを説明

通学区域についての事務局案を説明

9. 質疑

委員：この審議会は年何回するのか。今回の審議で終わりか。

事務局：審議の内容で回数が決まってくると思うが、審議が煮詰まり、提言に向け取りまとめていただく。

委員：通学区域以外の学校には行けないのか。

事務局：基本的に通学すべきものが通学区域。大村小や合岩小・中は小規模特認校で、市内全域から、希望すれば審査後に入学を認めるという扱いになっている。これとは別に指定学校変更というのは、豊前市に限らず、今も

あるが、決められた通学区域でない学校に行きたいという場合には、教育委員会に申し出ていただいて、その内容が合理的に認められれば行ける。今度の通学区域を決めても基本は同じ。

委員：学校再編成の方針を新聞に先に発表したが、地域住民に先にするべきではないか。

事務局：市民の方に混乱を招いてしまった反省はある。

ただ、今年度は明日から開催される市政懇談会が、昨年度はコロナ禍で、開催されなかった。この11か所での市政懇談会で頭出しをして、各地域で説明会を行う予定だった。

また、この審議会は、学校再編の検討をする場ではなく、通学区域について審議する場ということを理解していただきたい。

委員：住民説明会はどんな感じだったか。

事務局：いろいろなご意見があり、厳しい意見もあった。が、説明する中で、現状と今後の見通しを説明するとほぼご理解いただいた。

委員：通学審議会でも情報発信の仕方を検討してほしい。

事務局：重々に慎重に精査しながら情報発信をしてきたいと思う。

委員：小学校区が広範囲になるが、スクールバス等の設備は計画しているのか。

事務局：子ども達の安全を確保するため、今の計画では、10台以上のスクールバスは必要と考えている。

委員：まだ生まれていない子どもの人数の推移は、どのように算出しているのか。

事務局：いろいろな社会統計があるが、今の現況に近い3%減で推移すると仮定して算出している。

10. その他

次回の日程について

11. 閉会